

写

要 請 書

多摩都市モノレール

羽村市ルートの早期整備路線化及び早期事業化について

厳寒の候、貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

日ごろ、羽村市の行政運営に格別の御指導を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昭和五十六年にその構想が策定されました多摩都市モノレール事業は、多摩地域が活力あふれる個性豊かな自立都市圏の形成を図る上で重要な公共交通網の骨格をなすものとして、その早期全線開業が強く望まれております。

特に、羽村市では、本事業が二十一世紀を展望したまちづくりの新交通システムとして、JR青梅線以外で羽村市と近隣及び多摩地域市町とを結ぶ唯一の公共交通でありますことから、基本計画が発表された時点より、その実現を切望してまいりました。

また、羽村市議会でも「多摩都市モノレール建設促進特別委員会」を全会一致で設置し、早期事業化を要請するとともに、市民からは、一万五千九百十三人の署名のもとに本事業の建設の早期実現を要請する陳情を行うなど、行政、議会、

市民が一体となって、多摩都市モノレール建設の具体化に向けた運動を展開し、羽村市ルートの早期事業化をさりたい旨、これまで貴職に要請を重ねてきたところであります。

このような中、平成十年十一月には、立川北駅・上北台駅間が、念願の開業を果たし、目下多摩センター駅・立川北駅間においても、平成十一年度内の開業を目指し、整備が着々と進められておりますことは、構想路線上の関係市として、その後の進展に大きな期待を寄せるところであります。

この路線に引き続き、次期整備路線の上北台・瑞穂町箱根ヶ崎間が「事業化すべき路線」として、現在、都市計画の決定に向けた準備が進められていると聞いておりますが、一日も早くその実現を望んでおります。

また、構想路線上の羽村駅西口地区におきましても、モノレール事業を想定した土地区画整理事業区域の都市計画が決定されましたことから、羽村市ルートもいよいよ事業化という気運が高まっております。

つきましては、地域の実情を御賢察のうえ、多摩都市モノレールの箱根ヶ崎の延長線上の構想路線である羽村市ルート of 次期整備路線化及び事業化につきまして、早期に実現されますよう、重ねてお願いする次第であります。

平成十一年二月三日

羽村市長 井上篤太郎

羽村市議会議長 雨宮良彦

羽村市多摩都市モノレール  
建設促進特別委員会委員長  
鈴木忠男

東京都知事 青島幸男 殿